「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりょくする

10月

2026年度
西神吉小だより

加古川市立
西神吉小学校
学校通信
No.95

～ ６年『赤ちゃん先生』 ～

運動会という大きな行事を終え、代休明けの６日（火）の３時間目、昨年度に引き続き、６年生を対象に「赤ちゃん先生」の講座を開催いたしました。

この取組は、NPO 法人ママの働き方応援隊『Mamahata』様が展開されている「赤ちゃん先生プロジェクト」によるものです。０歳から３歳までの乳幼児が“先生”、そのお母様が“ママディレクター”として学校にお越しくださいます。実際に赤ちゃんと触れ合ったり、ママディレクターのお話に耳を傾けたりすることを通して、赤ちゃんの生きていく力や関わり方を学ぶとともに、自分自身がこれまで大切に育てられてきた歩みを振り返り、家族や周りの方々への感謝の気持ちを育むことを目指しています。

当日は、生後４か月の小さな赤ちゃんから１歳４か月までの元気いっぱいの赤ちゃん先生、そしてママディレクターのみなさんが、それぞれ８名ずつ来校してくださいました。グループに分かれての活動が始まると、多目的教室は一瞬にして柔らかく温かな空気に包まれました。６年生の子どもたちは、おっかなびっくり、それでいて慎重に赤ちゃんを抱っこさせてもらったり、自分の身体の大きさと比べるように横に並んで寝転がり、「こんなに大きくなったんだな」と自分の成長を実感したりしていました。赤ちゃん先生が泣き出してしまう場面や、ヨチヨチとおぼつかない足取りで歩く姿を、６年生たちが本当に優しく愛おしそうな眼差しで見守っていたのがとても印象的でした。普段は最高学年として学校を引っ張る頼もしい６年生が見せた、なんとも微笑ましく穏やかな表情に、見ているこちらの心までじんわりと温かくなりました。

命のぬくもりに触れ、自らの成長を感じ、命の尊さと、育まれてきた時間の重みを肌で感じる、大変ステキな時間となりました。お忙しい中、ご協力いただきました Mamahata の皆様、そして可愛い赤ちゃん先生方、本当にありがとうございました。

この「赤ちゃん先生」の講座は、３学期にも２回目を予定しています。次回は子どもたちがどのような表情を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

西神吉っ子の一コマ








赤ちゃん先生、ママディレクターのみなさん、
貴重なお話と体験をありがとうございました！！







